

special talk

21 スズキ・メソッドと 世紀の幼児教育

元財務大臣の塩川正十郎さん、ソニー相談役の大賀典雄さん、国際教養大学学長の中嶋嶺雄さんをお招きして、スズキ・メソッドの果たしてきた役割、これからの幼児教育の大切さを縦横無尽にお話いただきました。司会は、才能教育研究会の給田英哉常務理事が務めています。



特集

給田 両先生には昨年から才能教育研究会の顧問を、快くお引き受けいただき、大変光栄に思っております。塩川さんは現在、東洋大学の総長もしていらっしゃいますし、政治家としていろいろなところで教育に関しても多くの発言をいらっしゃいます。片や大賀さんは、大企業の上であつただけでなく、もともと音楽家であつたわけですし、最近では素晴らしい指揮もされています。そういう大先輩の皆さんが、スズキ・メソッドに興味を持ってくださっているのは大変嬉しいことです。

私と中嶋さんは、スズキ・メソッドの第1回の卒業生で、中嶋さんが長い間常務理事をされたあとを今私が引き継いでおります。今日は、いろいろなお話をお聞かせいただきたく思っております。

大賀 あの鈴木先生のなんともいえないもの話し方、とても魅力のある方でした。今はもう、鈴木先生と親交のある方がだんだん減ってきて



しまったでしょう。私は興味にも何度かお目にかかったことがあります。

給田 皆をほわっと包んでしまわれるような方でした。

大賀 そうそう。それと、ソニーの創業者の井深さんも、この才能教育に、とても興味を持っていらっしゃいました。

中嶋 その頃井深さんが幼児開発協会の理事長をされていた時期で、才能教育の名譽会長をお願いしました。

給田 鈴木先生と井深さんはとても共鳴されることがありましたか。

大賀 話していると、「その通り」とお二人は周波数が合ってしまうのです。そのくらいお互いに親しかったですね。

給田 一昨年のグラッドコンサート
の時は、ご来場いただきまして、ありがとうございました。
大賀 (写真を見て) この時の、あの
目にも鮮やかな
グラッドコンサート



給田 一昨年が50回目でしたが、どうやって間を空けずに誘導するか、重ねてきた訓練の賜物です。韓国でスズキのコンサートがあった時に、豊田会長と私が行ったのですが、とてもそういうわけにはいきませんでした。出入りが揃わず、お客様は延々

そうです。そういう「縁もあつたようですね。塩川さんに、整列のことはお褒めいただきましたが、3000人の生徒をあそこで誘導するというのは、1秒1秒計算して、リハーサルをしてと、なかなかできることではありません。

中嶋 豊田会長が聖心女学院で演奏した時に、学生でいらした皇后陛下が、それをお聴きになったことがある

かご来場くださっています。中嶋 豊田会長が聖心女学院で演奏した時に、学生でいらした皇后陛下が、それをお聴きになったことがある

フロア一杯に子どもたちがいてね。塩川 2年続けて拝見しましたが、すこかったですね。よく揃っていますよ。整列もハーモニーも。給田 子どもは、1曲弾いただけでも、あそこに参加したというのはすごい励みになります。今年はトリノで世界大会があつて、日本からも参加しましたが、世界中から集まってきました。スズキ・メソードは、皆同じテキストなので、誰が参加してもその場で弾けるという利点がありますから、まさにグローバルな活動です。2007年3月に、またグランドコンサートをやるということが決まっています。前回は大賀さんに指揮をしていただいて、その上最後までお聴きいただいた感激しました。皇后陛下も関心を持ってくださっていて、記念公演には、今までも何度かご来場くださっています。

1921年大阪府布輪市（現東大阪市）生まれ。44年慶応義塾大学経済学部卒業。64年布輪市助役兼3市合併事務局長。67年衆議院議員初当選。以後、11回当選。運輸大臣、文部大臣、内閣官房長官、自治大臣、国家公安委員会委員長、自由民主党憲法調査会長、税制調査会長、総務会長などを歴任。01年小泉内閣誕生とともに財務大臣に就任した。03年10月政界を引退。勲一等旭日大綬章、東大阪名誉市民賞、フィリピン・日本友好賞などを受賞。現在東洋大学総長、日本武道協会会長、関西棋院理事長、日本相撲協会名誉顧問など数々の要職を務めている

塩川 実は博多で孫がスズキ・メソッドに入会していますが、母親が「私がやらないと上達しない」といつも言っています。おまけに兄弟でも性格が違うから、同じようにはいかなくて、苦勞しているようです。それと、今度は母親がついていかれないようです。そのうちに、子どもが塾

幼児教育とスズキ・メソッド

塩川 そのノウハウはすごいですね。見ている気持ちがいいし、微笑ましい。



指揮者として、豊かな音楽性を披露された大賀典雄さん



貴賓席前列には両陛下、高円宮妃殿下、豊田耕児会長とともに塩川正十郎さんの姿も見える



2007年3月には、第51回グランドコンサートが予定されている

に追われてしまう。せつかくいいところまでいつているのに、子どもたちを交にしていくのは学歴社会、偏差値教育の影響だと思えます。中嶋 スズキ・メソッドはまさに偏差値教育と対極にありますね。塾や偏差値でなくて、本当にどの子も伸びますからね。今までは、誰がどこまで速く進んだかが問題にされましたが、人はそれぞれで、後から伸びる人もあります。昭和21年の9月に松本音楽院ができたのですが、私は22年の1月に入学しました。その時9歳で、もう認知力がついてしまう年で、ちよつと遅かったですが、始めてみると、みんな本当に上手になるんです。それに、私のように、音楽の道に進まな



1956年東京芸術大学、57年ベルリン国立芸術大学をそれぞれ卒業。59年ソニー入社。CBS・ソニーレコード会長、ソニー社長、会長、取締役会議長などを経て、03年名誉会長に就任、06年4月より相談役。この間、東京商工会議所副会頭、日本電子機械工業会会長、経済団体連合会副会長などを歴任。88年藍綬褒章、94年ドイツ連邦共和国勲章大勲功十字章、96年フランス「レジオン・ドヌール」勲章、01年勲一等瑞宝章、ドイツ共和国勲章勲章大勲功十字章勲章などを授与される。東京フィルハーモニー交響楽団会長・理事長も務め、音楽家としても活躍する。著書に「SONYの旋律-私の履歴書」などがある

くても、趣味で今でも楽しめます。そういう生き方もあるわけですから、偏差値教育のように一斉にスタートするのでなく、いろいろな楽しみ方をして欲しいですね。ぜひ続けて欲しいし、続けることがとても大切です。

給田 たしかに、今の子どもは勉強に追われていきますね。それがスズキ・メソードと接点を持つと、母と子が同じ時間を持つようになり、それを大切にしていくと伸びます。鈴木先生もおっしゃっていましたが、どういう環境を親が作ってあげるかということですから。

塩川 私、孫が7人いますね、一番上が大学で、小学校の子もいます。勉強の負担があまりにも大きすぎます。実際に見ておってわかりました。自分では経験したことがないものですから、ぴんとわからなかったですが、これはやはり社会の問題です。そこをもっと解放してやったら、音楽や芸能、絵画とか、自分のやり

たいことに、子どもが積極的に取り組むのではないかと思います。

中嶋 塩川さんは文部大臣もやられて、よくご存知だと思いますが、今、小学校の教科の中で、国語力が下がっていると言われます。その国語は年間175時間あります。ところが、音楽はたった35時間です。小学校では、国語ももちろん必要ですが、感性教育も大切。わずか35時間ではなくて、60〜70時間教えるようにしたら、塩川さんのおっしゃる通りに、日本の子どもたちの人格形成に、とてもいいと思います。でもそれがだんだん受験に結びついていって、中学になるともっと先細っていきます。

だから私は知育・徳育・体育に感性教育、情操教育と、これからの時代、異文化教育を加えるべきだと主張しているのです。

給田 日本の教育を考えた時に、受験科目ばかりやっているけれど、本当の人間教育を考えたら、情操教育が一番大切だと思います。中嶋さんを

ないです。ここで能力のある子がいかに伸ばすかということ、本当に考えないといけません。せっかくないうい組織があるんですから、まだ頭が柔軟な時に絶対音感を入れておけば、その子は一生涯持っているでしょう。それは小学校に入ってからでは、なかなか難しい。

時代とともに変遷する音感

大賀 家内は、5歳から音楽教育を受けましたが、5歳くらいですと、完璧に絶対音感がつくのです。ただ絶対音感がつくというのも考えもの

だなと思うこともあって、今は少々弊害もあります。戦前はA(ラ音)が435ヘルツだったのが、戦後440ヘルツに、最近では445ヘルツになりました。ウィーン・フィルが445ヘルツになると音がきらびやかに、華やかになるといって、世界的にそうなっていました。ですから絶対音感で育てられた子は最近「高い、高い」と言います。頭の中のコンサートで音楽が始まると「どうしてこんなに高いのだろう」と言います。オーケストラの音が国際的に445ヘルツになってしまおうと、ピアノも445ヘルツに調律しないと、コンチェルトができない。モーツァルトの頃はもっと低かったらしいです

見ている教育改革のために、いつも戦っている感じがしますね。

中嶋 一つには、日本は平等主義ですから。

塩川 そうそう、悪平等。中嶋 鈴木先生は能力を持つものはどんどん伸ばしたものです。

大賀 AからZまで、子どもの才能がいろいろあるのに、それを伸ばしてやらないといけないのに、画一的に教育するのは罪です。それぞれの子どもに特徴を見出して、それで教えないと。家内は幼稚園からお茶の水で、お茶の水は教科によつて専門の教師が教えます。エキスパートに習う機会を得ましたが、それは1%以下です。くじで当たって入れたから特権を享受できたわけです。

塩川 結果の平等ばかり追求して、チャンスの平等を議論しないのです。そこが戦後の民主主義の間違った方向になったのではないかと思います。

大賀 スズキ・メソードは学校ではね。435ヘルツから440ヘルツにはついてこられたそうですが、445ヘルツにはついていけないと嘆いています。おそらく、モーツァルトの描いていた音楽と、今演奏されているものでは、15ヘルツくらい違っているでしょう。

中嶋 当時はアンサンブルだったのが、演奏会用の音楽になってしまったのです。大ホールで華やかに演奏するために。

大賀 そういう変遷がありますね。才能教育が一番大事なのは、3歳くらいから音を入れて「さうこと」でしようが、その後は動かすこととはなんとも違います。また、今後とも上がらないとも限りません。これがまた上がっていった



ら、絶対音感を子どもたちにつけることは、かえって苦しめることになり
ます。3歳の子に教え込んだことは、
脳にプリントされてしまつて、だれも
消すことができませんから。3歳か
らやるのは情操教育からも大賛成で
すけれど、社会がそれをキープして
あげる必要があります。

中嶋 スズキ・メソードでは4歳か
ら9歳くらいで始めると、今の脳科
学の発達的面からいっても適応性が
あると考えています。

大賀 私の目の前で、世界最高の指
揮者が息を引き取るとは、夢にも思
いませんでした。その時、ハンブル
クに行っていたのですが、カラヤンか
ら、どうしても逢いたいからザルツ
ブルクまで来てくれと言われましてね。
ちょうどソニーの飛行機で行って

界で日本にしかないと言っていまし
た。

音楽好きのリーダー

塩川 世界的な大指揮者たちとのお
つき合いは大変素晴らしいことです。
おかげで日本人は最近では文化面に関
心が強くなったように思います。今
は、ちょっとした劇団の公演でも、
音楽でも人気があります。特に日本
の伝統文化の、能や浄瑠璃でも、歌
舞伎でも関心があります。これは非
常にいいことで、音楽も同じです。
CDなど簡単に見たり聴いたりでき

ましたから、伺ったのですが、彼は
とても飛行機に興味を持っていまし
た。カラヤンもソニーもフランス製の
ファルコン・ジェット機を使っていま
したから、その話を30分くらいして、
カラヤンの録音したものをソニーから
売り出すという話になったのですが、
話している最中に、彼の首がカクン
となつたように思いました。家内は
落ちたものを拾うのに下に手を伸ば
したのかと思つたそうです。でも、
一緒に行ったアメリカのソニーの社
長が、「ハートアタックだ」と言った
ので、まずカラヤン夫人に知らせま
したが、奥さんの「ヘルベルト、ヘ
ルベルト」という呼びかけにも、も
う2度と目を開けることはありません
でした。知らせを受けたハイウェ
イパトロールのヘリコプターがすぐ駆
けつけて来て、手を尽くしましたが、
やはりだめでした。あつという間の出
来事でした。

彼は、語学も堪能で、英語・ドイ
ツ語・フランス語と瞬時に切り替わ
るメディアが出てきたのが大きいと思
いますが、結構なことです。

塩川 それに聴きに行つてびっくり
するのは、皆さんの話のペースが違
います。年配の方も、学生も、事前
に勉強してきている、関心を持って
いるというのは、レベルが上がって
いる証拠です。

中嶋 小泉首相は大変な音楽ファン
で、特にヴァイオリン・コンチェ
ルトについて語らせたら、我々も顔負
けするほどのオーソリティーです。普
通、我々はバガニーニのヴァイオリ
ン・コンチェルトは第1番、第2番
を聴くのですが、小泉さんは昔から
第5番を聴いていらつしやるそうで、

るのです。オーケストラのメンバーは
いろいろな国の人がいますから、た
とえば、フルートのエマニュエル・パ
ユはフランス人だと思えば、途端に
フランス語で指示を出すという、天
才でした。

塩田 パーンスタインとも深い親交
がありましたね。

大賀 そうです。彼はアメリカの大
指揮者で、晩年、ヨーロッパで大成
功しましたが、日本に来ては演奏会
が終わつてサインが欲しいと言つと、
最後の一人までしてあげていました。
それもただサインをするのではなく、
相手と会話を楽しんでいる。です
から、終わるのが11時頃になつてしま
う。日本では公演のあとに、食事を
セツトしようと思つても、11時を過
ぎるのでなかなか大変でした。そう
こうすると午前3時過ぎまで付き合
わないといけない。彼はいいけれど、
私は、時から会社でしたから、付き
合いが大変でした(笑)。寿司をこよ
なく愛し、こんなにうまいものは世

CDもなかなかないですが、サルバ
トーレ・アッカルドのCDをお持ち
で、それを一人で夜中に聴いている
ようです。私はたまたまお話しする
機会があつて、中国問題を置いてお
いて、ヴァイオリン談義をしたこと
がありました。そういう姿を意外に
周りの人は知らないですね。高いレ
ベルの音楽愛好家が、日本には非常
に多いのではないのでしょうか。これ
私の「小泉再発見」でした。

塩川 小泉総理が音楽や芸能が好き
なのは有名ですが、そこまでとは知
りませんでした。

中嶋 横須賀高校時代に、高校のオ
ーケストラでヴァイオリンを弾いて
いたそうです。それもあまり知られて
いませんね。

国際社会学者、国際教養大
学長、才能教育研究会名誉
理事。1936年、長野県松本
市生まれ。現在は文部科学省
中央教育審議会委員(大学
院部会長、外国語専門部会
主査)、財団法人大学セミナー
・ハウス理事長などを兼務。
アジア太平洋大学交流機構
(UMAP) 国際事務総長、オ
ーストラリア国立大学、パリ
政治学院、カリフォルニア大
学サンディエゴ校大学院の客
員教授を歴任。平成15年度
「正論大賞」受賞。「現代中
国論」「中ソ対立と現代」「北
京烈烈」「サントリー学芸賞
受賞」「国際関係論」「中
国・台湾・香港」など著書も
多数ある

間の自発的な努力によってやらなければならぬ公の仕事とあるのです。スズキ・メソードのように、官ではないけれど、公共性の高い活動があります。それをどう育てるかということが、NPOの精神でした。ところがNPOは税法上のことばかりが扱われてしまっていて、なかなか伸びない。文化活動というのは公共のことだけれど、民間がやること。だから認識を公共として認めていったらいいと思っています。それで小泉さんの方針として公益法人を見直そうと、やっとならなってきたのです。これをも少し実際に合うような形に適應させていくといいかと。スズキ・メソードは民でやっていますが、公共の仕事だと私は思います。

中嶋 文部科学省の中に、もう少しきちんと幼児教育を位置づけてもらいたいと常々思うのですが、なかなかそれが役人の発想ではできません。その原因は、日本の文部科学省は、官であり、鈴木先生の唱えた教育運動は民なんです。鈴木先生は、これほど世界的に大きな発信をしたにもかかわらず、結局、文化勲章もいただけなかったし、文化功労者にも選ばれませんでした。外国では、現にノーベル平和賞の候補になったのです。それは私がノルウェーで確かめてきました。にもかかわらず、日

松本市長の時から、松本が発祥の地であり、本部がずっと松本だったこともあり、市の幼稚園や保育園でスズキ・メソードを取り入れてくれるようになりました。最初は4園から始まったのが、非常にいいところとで継続され、今では17園になりました。保育士や幼稚園の先生が、スズキ・メソードで作った、聴きやすい名曲を録音したCDを、子どもたちに毎日聴かせてくれているそうです。子どもたちは、遊びながらも給食を食べながらも、知らず知らずのうちにいい音楽を聴いています。すると、いつの間にか吸収しているんですね。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」や「パルティータ」と

大賀ホルルの指し示すもの

給田 ところで大賀さんが建てられた大賀ホールが1年経ちました。

大賀 自慢することでもなんでもなくて、ソニーが退職金をくださると聞いたら、家内がいきなり、これ全

スズキ・メソード第1回卒業生の一人。1938年生まれ。61年東京大学教育学部教育学科卒業。丸紅(株)に入社。2度にわたり合計10年ロンドン駐在、専務取締役、丸紅経済研究所会長を経て、02年1月国際交流基金理事・日米センター所長に就任。現在に至る。上記のほか国際経済財団理事、日英協会理事、99年以降才能教育研究会常務理事を兼ねる。02年、英国エリザベス二世女王陛下より名誉大英勲章「CBE」を叙勲



大賀 小泉さんはお話していても、実に幅広い、ワイドな知識を持っています。

塩川 本は読まれています。必ず線を引き、自分の雑記帳に書いて、時々名言を披露したりしますね。

給田 本を読むと言えば、台湾前總統の李登輝さんが中嶋さんの本を、本当に線を書いて愛読書にしていらっしゃるんですね。李登輝さんが中嶋先生を信頼されているというのは、表向きだけではないですね。それだけ全部の本を読んでいます。

中嶋 李登輝さんも音楽が大好きで

す。特にクラシックの好きな政治家は信頼できるのではないかとというパロメーターを私は持っています。

給田 理解をしてくださるという度量というか、感受性が素晴らしい。そういう点で、子どもの時から音楽に慣れ親しませるのは、とても大切だということを感じます。

民間としての公共性

中嶋 文部科学省の中に、もう少しきちんと幼児教育を位置づけてもらいたいと常々思うのですが、なかなかそれが役人の発想ではできません。その原因は、日本の文部科学省は、官であり、鈴木先生の唱えた教育運動は民なんです。鈴木先生は、これほど世界的に大きな発信をしたにもかかわらず、結局、文化勲章もいただけなかったし、文化功労者にも選ばれませんでした。外国では、現にノーベル平和賞の候補になったのです。それは私がノルウェーで確かめてきました。にもかかわらず、日

本の官を中心とした明治以来の教育の中では、鈴木先生自身は、いわゆるはみ出し者なのです。鈴木バイオリンの御曹司で、名古屋の商業学校を卒業し、17歳か18歳の時にヴァイオリンを聴いて、もう一度ヴァイオリンをやろうとドイツに渡り、カール・クリングラウ先生についたという人ですから、官の中で育っていない。それがよきでもあるし、日本でなかなか認知されない一つの大きな要因でした。それだけに、まさにこういう教育運動であるスズキ・メソードを、民間として続けていくことはとても大切だと思っています。

大賀 当時の文部省の予算をもらっていたら、ここまで伸びなかったのかもしれません。

塩川 独立しておったから、よかったですね。官の仕事といたら公共です。公共は全部官だという考えなんです。ところが、行政と官とは違うと。公共の仕事の中で、行政としてやらなければならない分野と、民

Suzuki Method

才能教育 No.156 夏2006

第14回スズキ・メソード世界大会 トリノから現地報告

マンガ版 鈴木鎮一物語 第4回 激動の日々



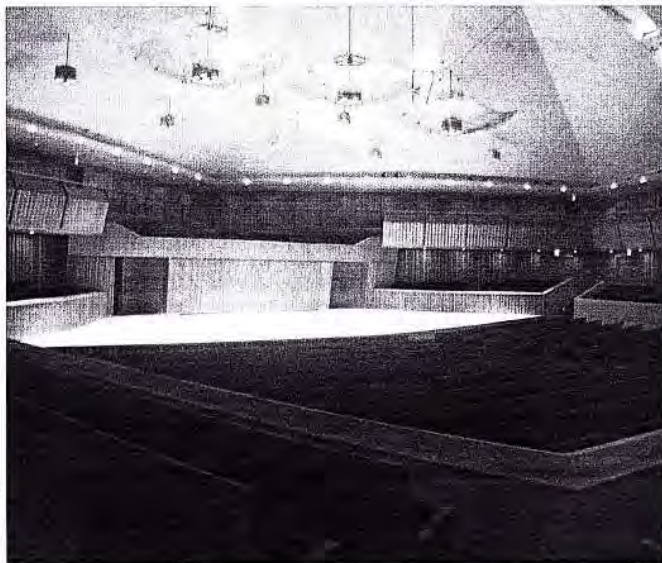
特別
座談会

special talk **21** スズキ・メソードと
世紀の幼児教育

塩川正十郎・大賀典雄・中嶋嶺雄・給田英哉

軽井沢大賀ホール
tel.0267-42-0056

http://www.town.karuizawa.nagano.jp/toppage_0.asp



部、軽井沢町に寄付しようと言
い出しまして。どうして軽井沢かと
言いますと、戦争中に家内は諏訪に
疎開していて、そこから軽井沢まで
ピアノのレッスンに通っていました。
当時は電車で行くのがとても大変で、
苦労して通った思いの町です。も
う一つは、あれだけお金持ちが別荘
を持っているのに、満足な音楽ホー

ルが一つもなかったのです。町にそ
の話を聞いていた軽井沢町が建てて
も、きつとうまくいきません。大賀
さんが気に入ったホールを建てて寄
付してください。最大限そのホール
をうまく使う努力をしますから」と
言われました。土地は町が用意して
くれました。一つ心配したのは、軽
井沢町は音楽人口が少ないことです
ね。それで、800人しか入れない
ホールを作ったのですが、柿落とし
をしてみたら、公演のたびに満席。
聞いてみると、東京から新幹線で聴
きに来ているんです。そんなことな
ら、もっと大きいを作ればよかつ
たかなと(笑)。稼働率もよくて、初
年は200数回の公演がありました。
塩川 それはずいぶんですね。一回見
せてもらいに行こう。

大賀 日本には五角形のホールはな
いのではないのでしょうか。五角形は
出た音が元の場所に戻らず、分散し
ていきます。出た音が行ったり来た
りしたら、必ず汚くなるんです。そ
れで残響特性が非常にいいホールが
できるはずだからと、私がい出し
ました。きつと2人以上の人がお金
を出したら、うまくいかなかったで
しょうが、私と家内だけでやったか
ら、思ったようにできたのです。緞帳
もないし、ステージと客席だけのホー
ルです。でもステージはサントリー
ホール並みの広さがありますから、
フルオーケストラが入ります。

給田 今年、4月から軽井沢の幼稚
園でスズキ・メソードの教室が始ま
るそうですし、ゆくゆくは、それを母
体に弦楽団が育てばいいと思ってい
ます。そうしたらスズキ・メソードで
大賀ホールを使わせていただきたい
ですね。

大賀 どうぞどうぞ。鈴木先生も喜
ばれるでしょう。